

新たな想定を見据えた高知県の対応

新たな想定を待つことなく取り組んできた南海地震対策

揺れ対策

- 住宅耐震化補助の拡充(60万円→90万円)
- 県有施設の耐震化前倒し
- 河川堤防の耐震化
- 急傾斜地崩壊・地すべり等の防災対策 など

津波から避難する対策

- 津波避難タワー整備: **8基(H23年度)**
- 避難路・避難場所: **87カ所**
- 避難誘導灯等: **80基**
- 津波避難ビルの指定の拡充への支援
120カ所(H23.4.1)→**170カ所(H24.3.31)**
- 市町村の津波避難計画の策定推進
13市町村(H23.4.1)→**19市町村(H24.3.31)**
- 海岸堤防の液状化対策
- 県庁非常用発電機の浸水対策 など

100%達成

計画見直し

- 災害時医療救護計画の策定
- 社会福祉施設地震防災対策マニュアルの見直し など

その他

- 自主防災組織の活動支援
組織率 67.7%(H23.4.1)→**77.8%(H24.3.31)**
(沿岸域) **16/19市町村で100%**
- 緊急用ヘリ離着陸場整備支援
17カ所(H23.4.1)→**28カ所(H24.3.31)** など

各対策の目標:

・学校の耐震化・・・H27年度完了 ・津波避難施設・・・H25年度概成 ・自主防災組織率・地域の津波避難計画策定・・・H24年度100% ・諸計画の見直し・・・H24年度

国からの震度分布・津波高の暫定値公表 (震度分布:250mメッシュ・津波高50mメッシュ)・・・3月31日

【4月末目処】第1弾の地震動・津波浸水予測結果公表(国の結果をベースに暫定推計)

- 最大クラスの津波高(10mメッシュ) ・最大クラスの津波心水域(10mメッシュ)
- 時間差発生時の津波高・津波浸水域(10mメッシュ) ・長周期地震動の検討結果

【今秋頃】第2弾の地震動・津波浸水予測結果公表(最終予測結果の公表)

- 最新の地形データや構造物データ、詳細な地質データに基づく精緻なシミュレーション
- 過去の地震による津波痕跡と組み合わせた分かりやすい津波浸水予測

4月より作業開始

新想定を受け、さらに加速化

津波避難タワーの嵩上げ等

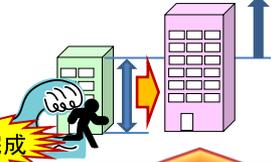
- 既存タワーの嵩上げ対応
- タワー詳細設計変更



H26年度完成

津波避難ビルの見直し

- 津波避難ビルの指定促進



津波避難計画の見直し 避難路・避難場所の再整備



H25年度見直し完了

訓練の充実

- 様々なパターンの訓練実施 など



『こうち防災備えちよき隊』(H24.4.17設立)等による県民へのきめ細かな対応

- 新たな想定に対する県民の不安を払拭するため、地域へ出向き詳細の地震・津波被害想定や県の取り組みについて講演
- 地域の実情にあった津波避難計画策定等への支援や訓練へのアドバイス など



新たな想定にも対応した対策にバージョンアップ

① 各計画見直し

H24年度中

- 南海地震対策行動計画の見直し
- 地域防災計画の見直し
- 災害時の初動体制・応急活動計画の見直し など

② 平成24年度当初予算 南海地震対策

加速化

- 津波避難タワー設計・設置: **8基**
- 避難路・避難場所の整備: **152カ所**
- 避難誘導灯等の整備: **115基**
- 災害対策用対空表示整備
- 総合防災拠点基本構想策定委託
- 土佐くろしお鉄道線への補助
- 建設業BCP策定推進事業
- ダム耐震性能調査
- 道の駅防災拠点化検討事業
- 公立学校耐震化促進事業
- ヘリ離着陸場の整備促進 など

③ 新たな想定を踏まえた国への政策提言

南海トラフ巨大地震対策特別措置法制定

- 調査観測体制の充実
- 直前予知を前提とした警戒避難態勢の構築
- 地震・津波防災施設等の整備促進

巨大地震・津波に備えるための財政支援制度の創設

- 津波避難対策への抜本的な強化
- 高台等への移転促進 など

地震対策大綱・応急対策活動要領の策定

- 予防対策から復旧・復興までを含めた総合計画
- 発災時の広域応急体制の構築

南海トラフを震源とする超巨大地震に対する防災対策の推進

県民の安全・安心が日々向上